

音楽科

1 専門教育科目の構成

1. 音楽科の教育目的

実技系は、それぞれの専攻実技の力を伸ばしながら、関連科目の学習の中で、その演奏実践と切り離すことのできない理論的理解、歴史的理解、文化的理解を深める。演奏実践力は、ソリストとしての演奏力だけでなく、アンサンブル力も含めて伸ばし、より応用範囲の広い音楽力として開発する。

文化系は、多様な地域、形態の音楽表現を、それを取り巻く人間の生活・文化の中に位置づけて理解すること（音楽文化専攻）、あるいは音楽や音楽・音を含む作品の創作・制作を通して、音楽と人間、社会との関わりを考えること（応用制作専攻）を学習の柱とする。

実技系、文化系、いずれにおいても、演奏実践あるいは調査・制作に基づく研究活動の訓練により、音楽についての幅広く深い理解を得ると同時に、それらを通じて涵養されるコミュニケーション能力や人間理解の能力をもって、ひろく社会に貢献できる人材を育てることを目指す。

2. 音楽科の特徴

日本でも有数の伝統を誇る音楽の高等教育の実績にたち、理論的理解、学問的理解の基盤を踏まえた高度な専門教育を提供する。音楽科は宮城学院の前身である宮城女学校が開設された当初から設置されており、優秀な音楽人を卒業生として送り出してきた。その実技教育の伝統の上に、1992年、「文化系」コースが設けられ、いっそう広い視野から音楽と人間の関わりを学ぶ体制が整えられた。この二系列があることにより、広がりや深さのある音楽教育が可能になっている。

いずれのコースも、小規模学科ならではのきめ細かな教育を特徴としており、温かい雰囲気の中で日々の教育活動が営まれている。また、合奏、合唱、文化系のセミナーなど、学年の枠を超えての活動も多く、多様な人間関係の中で、さまざまな方向から音楽力および一個の人間としての力を伸ばしていくことができるのも、音楽科の特徴といえる。

3. 教育課程の特色

音楽科専門教育科目は、大きく分けて「専攻科目」、「共通教育科目」および資格取得に関わる科目から構成される。

専攻科目：

実技系は、「専攻実技」を中心とした専攻の演奏表現能力を高めるための科目、文化系は、音楽文化の研究、応用制作の基盤となる講義、セミナーが置かれている。

「専攻実技」は個人レッスン形態で開講され、個々のレベルや個性に合わせた指導がなされる。演奏実践の応用力を開発するためのアンサンブル科目が設けられているのも特色である。

文化系の学習の柱は「セミナー」である。2年次の「音楽文化セミナー」「音楽制作セミナー」で、調査研究、制作に関する基礎力を身につけ、3年次で音楽文化もしくは応用制作の専攻を選び、それぞれ

の専攻に応じた「音楽文化専攻セミナー」もしくは「応用制作専攻セミナー」で一段進んだ実習を行い、卒業研究の準備とする。

共通教育科目（文化系「共通科目」）：

音楽史系科目、音楽理論系科目、音楽学系科目など、音楽の論理的理解に関わる諸科目と、ソルフェージュや合唱、副科実技など、音楽経験の幅を広げることから専攻の学習を支える諸科目が含まれ、実技系、文化系ともに履修する。ただし文化系は「ソルフェージュ」と「和声法」に代えて、両者を総合した内容を含む「音楽実践基礎セミナーⅠ～Ⅳ」を専攻科目として履修する。

資格に関する科目：

教員免許、司書教諭資格、学芸員資格（文化系のみ）の取得に必要な科目が置かれる。

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計 124 単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は 42 単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

●必修科目（計 42 単位）

1 年次：「キリスト教学Ⅰ」、「基礎演習」、「日本語演習」、「人文社会科学入門」、「自然科学入門」、「英語Ⅰ A・Ⅰ B」を各 2 科目、「運動スポーツ論」

「教養講義 A～O（K を除く。ただし 2012 年度に限っては C も除く）」のなかから 2 科目

「ドイツ語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」または「フランス語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」または「イタリア語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」

2 年次：「自然科学特論 A～G」のなかから 1 科目、「総合コース A～J」のなかから 2 科目

3 年次：「科学技術論」、「特殊研究 A・B」（4 年次でも可）

4 年次：「キリスト教学Ⅱ」

●選択科目

2 年次：「英語Ⅱ」、「ドイツ語Ⅲ」、「フランス語Ⅲ」、「イタリア語Ⅲ」

3 年次：「日本国憲法」

1～4 年次：「シーズンスポーツ」

2～4 年次：「スポーツ」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計 72 単位以上履修すること。

その他に『専門教育科目の選択科目』から 10 単位以上履修すること。

ただしこの 10 単位は、『一般教育科目の選択科目』、『他学科の開放科目』、『学芸員に関する科目の中の◎印の科目』『本学と協定を締結している他大学の単位互換

科目』をもって換えることができる。

①演奏実技に関わる科目の履修について

演奏実技に関わる科目には、「専攻実技」、「副科実技」、アンサンブル系科目がある。実技系学生の「専攻実技」は4年間必修だが、その他に専攻によって次の科目が『必修』となる。

ピアノ専攻	副科声楽、副科オルガン
オルガン専攻	副科ピアノ、副科声楽、副科ハーブシコード、コレギウム
ヴァイオリン・ヴィオラ専攻	副科ピアノ、副科弦楽器（ヴァイオリン専攻者はヴァイオリン、ヴィオラ専攻はヴァイオリン） 副科声楽、室内楽 A～F
チェロ専攻	副科ピアノ、副科声楽、室内楽 A～F
フルート専攻	副科ピアノ、副科声楽、室内楽 C～F
声楽専攻	副科ピアノ、オペラ基礎演習
音楽文化専攻 応用制作専攻	副科ピアノ、副科声楽

さらに、各自の関心や必要に応じて、上の必修科目以外に、副科管楽器、副科弦楽器およびアンサンブル系科目（室内楽 E～H、重唱、コレギウム A・B、管楽器アンサンブル A・B、弦楽器アンサンブル A・B、総合アンサンブル A・B）などから、原則として1学年につき2科目まで（文化系3・4年はコレギウムを除くアンサンブル系科目のみ）選択履修することができる。ただし、1年次は副科管楽器、副科弦楽器いずれか1科目のみ履修可能。

これら演奏実技科目の履修に際しては、次の諸点を注意すること。

- (ア)「副科管楽器」および「副科弦楽器」の履修に際しては、複数の管楽器、あるいは複数の弦楽器を同時履修することはできない。また、これらの科目を2年以上続けて履修する場合には、前年度履修した楽器を選択すること。
- (イ)「管楽器アンサンブル A・B」および「弦楽器アンサンブル A・B」を履修する場合には、アンサンブルに参加する楽器を前年度までに副科実技で履修しておくことが前提となる。
- (ウ)「副科管楽器」、「副科弦楽器」で使用する楽器は、初年度については学科備品を貸与するが、2年目以降は原則として各自用意すること。
- (エ)授業内容や履修希望者の人数によっては、希望する科目を受講できない場合もある。
- (オ)「室内楽」は器楽専攻者（オルガン専攻を除く）、「重唱」は声楽専攻者のみが対象となる。
- (カ)演奏実技に関わる科目の履修については、前年度1月に予備登録を行う。
- (キ)文化系の学生の副科実技履修は2年次までである。また、コレギウム A・B は履修できない。なお、3・4年次に「演奏実践研修」で副科実

技に相当する実技を学習することができる。（「演奏実践研修」については、⑥（オ）を参照のこと）。

予備登録については、⑥（エ）を参照のこと。

なお、副科ピアノを除く副科実技科目はいずれも後期に開講されるが、履修に際しては、前期に、学科が開設する副科プレ講座（「副科声楽プレ」「副科弦楽器プレ」など）を受講しなければならない。

②実技系専攻に関わる科目について

(ア)「専攻特別実技」について

各実技専攻には、「専攻実技」のほかに「専攻特別実技」が開設されている。「専攻実技」のレッスンとは別枠で、より高度な演奏能力を身につけるためのレッスンが行われ、専攻実技担当教員とは別の教員で履修することもできる。課題をこなすには一定レベル以上の演奏能力が必要なため、履修には資格制限がある。

(イ)履修資格のある科目について

上に述べた「専攻特別実技」の他、ピアノ専攻者の「室内楽 E～H」についても、資格制限がある。資格は前学期の専攻実技試験の成績による。

③文化系科目

(ア)文化系の専攻について

文化系には「音楽文化」と「応用制作」の2専攻がある。専攻は、3年次に「音楽文化専攻セミナー」あるいは「応用制作専攻セミナー」のいずれかを選択することによって確定する。

(イ)「卒業研究」について

文化系の学生は、「卒業研究セミナーⅠ・Ⅱ」および「卒業研究」4単位が必修となる。履修に当たっては、「音楽文化専攻セミナーⅠ・Ⅱ」もしくは「応用制作専攻セミナーⅠ・Ⅱ」を履修しておかなければならない。3年次末に「卒業研究仮題目発表会」を行い、3年次終了までに研究課題を決定する。

◆音楽文化専攻の学生は、「卒業論文」を執筆する。論文の字数は20,000字以上を基準とする。字数以外の体裁については、「卒業研究制作の手引き」（別途配布）によること。

◆応用制作専攻の学生は、「卒業制作」および、その制作に関するコメンタリー（制作のための基礎研究および、制作の意図や制作方法、制作過程の記録などをまとめた報告書）を提出する。「制作」は、楽譜あるいは録音・録画資料などの形で提出すること（課題内容に応じた形態を担当教員と相談のこと）。コメンタリーの字数は4,000字から12,000字程度を基準とする。字数以外の体裁については、「卒業研究の手引き」（別途配布）によること。

「卒業論文／卒業制作」は、担当教員の提出許可を得たうえで、大学の定める期限までに、所定の方式に従って学生支援グループ教務担当窓口へ提出のこと（P.34参照）。

(ウ)科目選択について

文化系の学生は、その専攻にそった「セミナー」および「卒業論文／卒業制作」を選択することになるが、これら以外の科目については、専攻との対応における受講科目の指定は特にない。各自の判断により選択受講すること。

④ その他の科目

- (ア)「共通教育科目」(文化系「共通科目」)について
「共通教育科目」には、「西洋音楽史概論」や「音楽構成法」などの全専攻共通の必修科目の他、「日本音楽史概論」、「音楽文化学講義」、「作曲法」などの教職必修科目、さらに音楽学習の幅を広げる諸科目が設定されている。専攻によって必修とされている科目、隔年開講となる科目などもあるので注意すること。
- (イ)「音楽構成法」および実技系の「ソルフェージュ」「和声法」について

これらの科目は、入学時に実施される音楽基礎能力テストによりクラス分けを行う。

(ウ)「伴奏法」について

「伴奏法A」は、1年間、専攻実技(声乐、フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)の授業および試験において伴奏を務めた場合に、その伴奏に対して1単位が認定される科目である。

「伴奏法B」は、器楽伴奏法、声乐伴奏法、2つのクラスが開講される。再度履修も認められている。

⑤ キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に科目登録できる単位の上限を設ける制度である。

1年度あたり修得できる単位数は、前期、後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならない。

ただし、科目登録の上限に含めない科目がある。音楽科専門教育科目については以下のとおりである。

授業科目名	授業科目名
音楽構成法ⅠA	音楽構成法ⅡA
音楽構成法ⅠB	音楽構成法ⅡB
音楽と情報処理	

なお、全学科において科目登録の上限に含めない科目があるので、詳しくは、「**5** キャップ制」(P18)を参照すること。

⑥ その他

(ア)「再度履修」が認められる科目の単位について

教育課程表「再度履修」の欄に、「可」と記入されている科目は、ある学年で単位を修得した以降も重ねて履修登録することができる。卒業要件単位を満たすには、一般教育科目42単位以上と専門教育科目72単位以上のほか10単位以上修得しなくてはならないが、「再度履修」により修得した単位もこの10単位に含めることができる(「卒業要件単位」についての説明も参照のこと)。

ただし、科目によっては、特定の専攻のみに「再度履修」が認められるものもあるので、教育課程表を注意深く読むこと。

(イ) 段階性のある科目

科目毎にローマ数字の付けられた科目は、段階的に履修しなければならない。したがって、上位段階の科目は下位段階の科目の単位を修得した後でなければ履修できない。

- ・専攻実技Ⅰ～Ⅳ
- ・副科実技Ⅰ～Ⅲ
- ・オペラ基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- ・和声法Ⅰ～Ⅳ
- ・ソルフェージュⅠ～Ⅳ
- ・音楽構成法Ⅰ・Ⅱ
- ・作曲法Ⅰ・Ⅱ
- ・西洋音楽史概論Ⅰ・Ⅱ
- ・音楽文化学講義Ⅰ・Ⅱ
- ・音楽工学講義Ⅰ・Ⅱ
- ・社会音楽学講義Ⅰ・Ⅱ
- ・音楽実践基礎セミナーⅠ～Ⅳ
- ・音楽文化セミナーⅠ・Ⅱ
- ・音楽制作セミナーⅠ・Ⅱ
- ・音楽文化専攻セミナーⅠ・Ⅱ
- ・応用制作専攻セミナーⅠ・Ⅱ
- ・卒業研究セミナーⅠ・Ⅱ

(ウ) 開講学年と履修

それぞれの科目は、原則として教育課程表の配当学年次に履修するものとする。時間割は、教育課程表の配当学年に基づいて作成されるので、自己都合によって履修を先送りにした場合、次の年度で履修登録できなくなる可能性がある。

(工) 予備登録

専攻実技、専攻特別実技、副科実技、アンサンブル系科目などについては、担当者の配当、クラス編成準備のために、年度末に翌年度履修についての予備登録を行う。専攻実技、副科実技の指導担当教員は、この年度末の予備登録の際に学生の希望で選ぶことができ、年度ごとに変更することもできる(ただし、人数によっては希望に沿えないこともある)。専攻特別実技およびピアノ専攻者の「室内楽E～H」は後期についても予備登録を行う。

また、文化系3年次の専攻セミナー、卒業研究セミナー、理論系科目についても、予備登録を行う。

予備登録の手続きは1月頃に行われるので、忘れずに手続きすること。予備登録をせず翌年度正規の履修登録をすること、あるいは予備登録した科目を変更ないし放棄することは、カリキュラム運営に支障をきたすので、原則として認められない。

予備登録については、後日詳しい要項を配布する。

(オ) 演奏実践研修

実技系「演奏実践研修A、B」および文化系「演奏実践研修」は、「認定科目」である。「認定科目」は、他の科目のように一定期間に履修登録する必要はなく、定められた要件を満たし

たと判断される場合に学生が申請をし、その内容が要件を満たしていると科がみとめた場合に、予め定めたポイントが付与される。一定のポイントをもって単位が認定されることになる。

1)「演奏実践研修A」(実技系専門科目)

① 目的

多様な場での演奏経験を重ねることは、演奏実技の学習に大きなプラスをもたらすものである。音楽科学生として経験するさまざまな演奏実践をポイント化して単位に結びつけることにより、演奏機会を自らの学習プロセスの中に意識的に位置づけ有効活用する。

② 認定の対象

ア、学科が奏者を選抜する演奏(学外・学内は問わない):卒業演奏会、音楽科コンサート、新入生歓迎リサイタル、オープンキャンパス、科主催公開レッスン、学外からの依頼演奏

イ、上記における伴奏

ウ、弦楽器専攻生の音楽教室主催演奏会における演奏

エ、木曜コンサート、火曜コンサート出演オ、その他音楽科が認めるもの

③ ポイントの算出と単位化

上記のアからオについて以下の基準でポイントが付与し、10ポイントで1単位を認定する。再度履修は何度でも認める。取得単位は2単位までを「その他10単位科目」として卒業要件単位に含めることができる。

ア:演奏時間によって2ポイントから6ポイントが付与する。

10分未満 2ポイント

10分から20分 4ポイント

それ以上 6ポイント

ただし卒業演奏会での演奏は10ポイント

イ:すべて2ポイント

ウ:1回の出演につき2ポイント

エ:1回の出演につき2ポイント(伴奏も2ポイント)

オ:アからエを踏まえ、内容に応じて科会議において判定する。

④ ポイントの認定

ポイントは、学生が所定の様式により科へ申請し、科会議の議を経て認定される。

申請は、各セメスター終了前に一定期間を設けて音楽科副手室で受け付ける。

2)「演奏実践研修B」(実技系専門科目)

① 目的

3、4年次の副科実技は、個人レッスン形態とは異なる学習効果を意図してクラス授業形式で行われる。それに加えて、個々人の学習計画や卒業後の進路から必要と思われる演奏実技の個人指導を受ける機会として、「演奏実践研修B」を置く。

② 演奏実践研修の対象

副科実技に相当する実技レッスン(ピアノ、声楽、フルート、クラリネット、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、オルガン、ハープシコード)。

③ ポイントの算出と単位化

1回20分のレッスンで、1セメスター15回をもって5ポイントが付与する。10ポイントをもって1単位を認定する。再度履修は何度でも認める。取得した単位は2単位までを「その他10単位科目」として卒業要件単位に算入することができる。

④ ポイントの認定

出席状況および副科実技を想定した学習成果の達成度をもって、学期末に担当教員が可否を判定する。それに基づいて学生が所定の書式により学科へポイントの申請をし、科会議の議を経て認定する。申請は、各セメスター終了前に一定期間を設けて副手室で受け付ける。

⑤ 履修手続き

音楽科に履修登録をする。

⑥ 研修受講料

1科目、1セメスター(15回のレッスン)につき30,000円とする。

受講料は前納とし、いかなる理由があっても返還はしない。

3)「演奏実践研修」(文化系科目)

文化系の学習は、社会にある多彩な音楽文化の調査研究あるいは多様なニーズに対応する音楽制作を通じて、人間の文化としての「音楽」について理解を深めることを目的としており、演奏実技の実践的学習はこれら学習に求められる範囲となっている。しかし、本音楽科には優れた演奏実技教育の実績があり、また本学においてこそ学ぶことのできる演奏実技もあることから、文化系の学生が自主的な演奏実技学習を通じて音楽経験と音楽理解を深める機会として「演奏実践研修」が設けられている。

演奏実践研修の対象、ポイントの算出と単位化、ポイントの認定、履修手続き、研修受講料については、上の実技系専門科目「演奏実践研修B」と同様である。

3 取得できる免許と資格

「免許・資格取得に関わる単位」を修得することにより、次の免許ないし資格を取得することができる。取得方法については「資格・免許」(P116～)を参照すること。

教育職員免許状:中学校教諭一種免許状(音楽)

高等学校教諭一種免許状(音楽)

資 格:司書教諭

学芸員【文化系のみ】

4 教育課程表の記号について

器楽部門

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目

必修	◎
選択（卒業要件単位）	△
自由（卒業要件単位には含まれない）	△

・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

教職(中一種免・高一種免を両方取得希望者) 必修	⊗
教職(中一種免)必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(中一種免)選択必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)選択必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(中一種免)選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(共通) 必修(一般教育科目)	⊗
教職(共通) 選択(一般教育科目)	⊕
司書教諭 必修	⊗

声乐部門

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目

必修	◎
選択（卒業要件単位）	△
自由（卒業要件単位には含まれない）	△

・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

教職(中一種免・高一種免を両方取得希望者) 必修	⊗
教職(中一種免)必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(中一種免)選択必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)選択必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(中一種免)選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(共通) 必修(一般教育科目)	⊗
教職(共通) 選択(一般教育科目)	⊕
司書教諭 必修	⊗

音楽文化・応用制作部門

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目

必修	◎
選択（卒業要件単位）	△
自由（卒業要件単位には含まれない）	△

・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

教職(中一種免・高一種免を両方取得希望者) 必修	⊗
教職(中一種免)必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(中一種免)選択必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)選択必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(中一種免)選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免)選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(共通) 必修(一般教育科目)	⊗
教職(共通) 選択(一般教育科目)	⊕
司書教諭 必修	⊗
学芸員 必修	⊗
学芸員 選択	⊕

5 教育課程表

音楽科教育課程表（器楽部門）

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
一般科目	◎		キ リ ス ト 教 学 I	2	2					
	◎		キ リ ス ト 教 学 II	2				2		
	◎		基 礎 演 習	2	2					
	◎		日 本 語 演 習	2	2					
	△		教 養 講 義 A	2	2				可	2科目4単位以上選択
	△		教 養 講 義 B	2	2				可	
	△		教 養 講 義 C	2	2				可	
	△		教 養 講 義 D	2	2				可	
	△		教 養 講 義 E	2	2				可	
	△		教 養 講 義 F	2	2				可	
	△		教 養 講 義 G	2	2				可	
	△		教 養 講 義 H	2	2				可	
	△		教 養 講 義 I	2	2				可	
	△		教 養 講 義 J	2	2				可	
教 育 科 目	△		教 養 講 義 L	2	2				可	2科目4単位以上選択
	△		教 養 講 義 M	2	2				可	
	△		教 養 講 義 N	2	2				可	
	△		教 養 講 義 O	2	2				可	
	◎		人 文 社 会 科 学 入 門	2	2					
	◎		特 殊 研 究 A	2			2		可	
	◎		特 殊 研 究 B	2			2		可	
	△	教	日 本 国 憲 法	2			2			
	◎		自 然 科 学 入 門	2	2					
	△		自 然 科 学 特 論 A	2		2			可	1科目2単位以上選択
	△		自 然 科 学 特 論 B	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 C	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 D	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 E	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 F	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 G	2		2			可	
	◎		科 学 技 術 論	2			2			
	△		総 合 コ ー ス A	4		4			可	2科目8単位以上選択
	△		総 合 コ ー ス B	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス C	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス D	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス E	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス F	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス G	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス H	4		4			可	
外 国 語 科 目	△		総 合 コ ー ス I	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス J	4		4			可	
	◎	教	英 語 I	1	1					各2科目計4単位必修
	◎		英 語 I	1	1					
	△		英 語 II	1		1			可	
	△		ド イ ツ 語 I	1	1					同一外国語を 4科目4単位以上選択
	△		ド イ ツ 語 I	1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 I	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 I	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 II	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 II	1	1					
	△		ド イ ツ 語 III	1		1			可	
	△		フ ラ ン ス 語 III	1		1			可	
	△		イ タ リ ア 語 III	1		1			可	
体 育 科 目	◎	教	運 動 ス ポ ー ツ 論	2	2					
	△	教	シ ー ズ ン ス ポ ー ツ	1		1			可	
	△	教	ス ポ ー ツ	1			1		可	

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専攻科目	◎	中高	専攻実技ⅠA	2	2					
	◎	中高	専攻実技ⅠB	2	2					
	◎	中高	専攻実技ⅡA	2		2				
	◎	中高	専攻実技ⅡB	2		2				
	◎		専攻実技ⅢA	2			2			
	◎		専攻実技ⅢB	2			2			
	◎		専攻実技ⅣA	2				2		
	◎		専攻実技ⅣB	4				4		
	△		専攻特別実技A	1		1				
	△		専攻特別実技B	1		1				
	△		専攻特別実技C	1			1			
	△		専攻特別実技D	1			1			
	△		専攻特別実技E	1				1		
	△		専攻特別実技F	1				1		
	△	中高	室内楽A	1	1					弦楽器専攻必修、他の専攻は履修不可
	△	中高	室内楽B	1	1					
	△	中高	室内楽C	1		1				管楽器専攻および弦楽器専攻必修 ピアノ専攻履修不可
	△	中高	室内楽D	1		1				
	△	中高	室内楽E	1			1			管楽器専攻および弦楽器専攻必修 ピアノ専攻選択可
	△	中高	室内楽F	1			1			
	△	中高	室内楽G	1				1	可	全専攻（オルガンを除く） 選択可
	△	中高	室内楽H	1				1	可	
	△		レパートリー研究A	2			2			
	△		レパートリー研究B	2			2			
	△		演奏実践研修A	1		1			可	
	△		演奏実践研修B	1			1		可	
共通科目	◎	中高	音楽と情報処理	2	2					
	◎	中高	西洋音楽史概論Ⅰ	2	2					
	◎	中高	西洋音楽史概論Ⅱ	2	2					
	△	中高	日本音楽史概論	2		2				
	△		音楽史特講A（鍵盤音楽史）	2			2			ピアノ、オルガン専攻：必修
	△		音楽史特講B（声楽史）	2			2			
	△		生活音楽論講義	2		2				
	△	中高	音楽文化学講義Ⅰ	2		2				
	△	中高	音楽文化学講義Ⅱ	2		2				
	△		音楽工学講義Ⅰ	2		2				
	△		音楽工学講義Ⅱ	2		2				
	△		社会音楽学講義Ⅰ	2		2				
	△		社会音楽学講義Ⅱ	2		2				
	△		音楽学特講A	2			2			
	△		音楽学特講B	2			2			
	△		音楽学特講C	2			2			
	△		音楽声学	2			2			
	△		音楽構成法ⅠA	2	2					ⅠAもしくはⅠB必修
	△		音楽構成法ⅠB	2	2					
	△	中高	音楽構成法ⅡA	2	2					ⅡAもしくはⅡB必修
	△	中高	音楽構成法ⅡB	2	2					
	◎	中高	和声法Ⅰ	2	2					
	◎	中高	和声法Ⅱ	2	2					
	◎	中高	和声法Ⅲ	2		2				
	◎	中高	和声法Ⅳ	2		2				
	△		対位法A	2			2			
	△		対位法B	2			2			
	△	中高	作曲法Ⅰ	2			2			
	△	中高	作曲法Ⅱ	2			2			
	△		芸術総合演習A	1		1			可	
	△		芸術総合演習B	1		1			可	
音楽科目	△		教育楽器演習A	2			2			
	△	中高	教育楽器演習B	2			2			

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 技 術 教 育 通 科 目	◎	中高	ソ ル フ ェ ー ジ ュ I	1	1					
	◎	中高	ソ ル フ ェ ー ジ ュ II	1	1					
	◎		ソ ル フ ェ ー ジ ュ III	1		1				
	◎		ソ ル フ ェ ー ジ ュ IV	1		1				
	◎	中高	合 唱 A	a 1	1					
	◎	中高	合 唱 A	b 1	1					
	◎	中高	合 唱 B	a 1		1			可	
	◎	中高	合 唱 B	b 1		1			可	
	◎	中高	指 揮 法	2			2			
	△		キ ー ボ ー ド 演 習	2			2			
	△	中高	副 科 ピ ア ノ I A	1	1					ピアノ専攻以外必修
	△	中高	副 科 ピ ア ノ I B	1	1					
	△	中高	副 科 ピ ア ノ II A	1		1				
	△	中高	副 科 ピ ア ノ II B	1		1				
	△		副 科 ピ ア ノ III A	1			1		可	
	△		副 科 ピ ア ノ III B	1			1		可	
	△		ピ ア ノ 基 礎 テ ク ニ ッ ク A	1	1					
	△		ピ ア ノ 基 礎 テ ク ニ ッ ク B	1	1					
	◎	中高	副 科 声 楽 I	1	1					
	◎	中高	副 科 声 楽 II	1		1				
	△		副 科 声 楽 III	1			1		可	
	△	全高	副 科 管 楽 器 I	1	1					教職は副科管楽器、副科弦楽器から同一科目Ⅰ・Ⅱを2単位選択 ただし、管弦専攻者は、専攻外の同一科目Ⅰ・Ⅱを2単位選択 ヴァイオリン・ヴィオラ専攻：副科弦楽器（ヴァイオリン専攻はヴァイオリン、ヴィオラ専攻はヴァイオリン）2単位必修
	△	全高	副 科 管 楽 器 II	1		1				
	△	全高	副 科 管 楽 器 III	1			1		可	
	△	全高	副 科 弦 楽 器 I	1	1					
	△	全高	副 科 弦 楽 器 II	1		1				
	△		副 科 弦 楽 器 III	1			1		可	
	△		副 科 オ ル ガ ン	1			1			ピアノ専攻：1単位必修 ピアノ専攻は再度履修可
	△		副 科 ハ ー プ シ コ ー ド	1			1			オルガン専攻：1単位必修 オルガン専攻は再度履修可
	△	中高	コ レ ギ ウ ム A	1			1			オルガン専攻：2単位必修 オルガン専攻は再度履修可
	△	中高	コ レ ギ ウ ム B	1			1			
	△	中高	管 楽 器 ア ン サ ン プ ル A	1		1			可	
	△	中高	管 楽 器 ア ン サ ン プ ル B	1		1			可	
	△	中高	弦 楽 器 ア ン サ ン プ ル A	1			1		可	
	△	中高	弦 楽 器 ア ン サ ン プ ル B	1			1		可	
	△		伴 奏 法 A	1		1			可	
	△		伴 奏 法 B	1			1		可	
	△		指 導 法 研 究 A	1			1		可	
	△		指 導 法 研 究 B	1			1		可	
	△		総 合 ア ン サ ン プ ル A	1		1			可	
	△		総 合 ア ン サ ン プ ル B	1		1			可	
教 職 に 関 する 科 目	△	中高	教 育 原 理	2	2					
	△	中高	教 育 制 度 論	2	2					
	△	中高	教 職 概 論	2	2					
	△	中高	教 育 心 理 学	2		2				
	△	中高	教 育 方 法 論	2		2				
	△	中高	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	2		2				
	△	中高	特 別 活 動 の 理 論 と 方 法	2		2				
	△	中高	生 徒 指 導 A (進路指導を含む)	2		2				
	△	中高	教 育 相 談	2			2			
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 I	2		2				
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 II	2		2				
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 III	2			2			
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 IV	2			2			
	△	中高	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2				2		
	△	中高	教 育 実 習 A (事前事後指導を含む)	5				5		
	△	高	教 育 実 習 B (事前事後指導を含む)	3				3		

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度 履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
司書教諭に 関する科目	△	教	学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2			2			
	△	教	学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2			2			
	△	教	学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2			2			
	△	教	読 書 と 豊 か な 人 間 性	2			2			
	△	教	情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2			2			
計			一 般 教 育 科 目	124						
			専 門 教 育 科 目	145						
			教 職 に 関 す る 科 目	36						
			司 書 教 諭 に 関 す る 科 目	10						
			合 計	315						

音楽科教育課程表（声楽部門）

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
一般科目	◎		キリス ト 教 学 I	2	2					
	◎		キリス ト 教 学 II	2				2		
	◎		基 礎 演 習	2	2					
	◎		日 本 語 演 習	2	2					
	△		教 養 講 義 A	2	2				可	2科目4単位以上選択
	△		教 養 講 義 B	2	2				可	
	△		教 養 講 義 C	2	2				可	
	△		教 養 講 義 D	2	2				可	
	△		教 養 講 義 E	2	2				可	
	△		教 養 講 義 F	2	2				可	
	△		教 養 講 義 G	2	2				可	
	△		教 養 講 義 H	2	2				可	
	△		教 養 講 義 I	2	2				可	
	△		教 養 講 義 J	2	2				可	
	△		教 養 講 義 L	2	2				可	
	△		教 養 講 義 M	2	2				可	
	△		教 養 講 義 N	2	2				可	
	△		教 養 講 義 O	2	2				可	
	◎		人 文 社 会 科 学 入 門	2	2					
	◎		特 殊 研 究 A	2				2	可	
	◎		特 殊 研 究 B	2				2	可	
	△	教	日 本 国 憲 法	2				2		
教 育 科 目	◎		自 然 科 学 特 論 A	2	2				可	1科目2単位以上選択
	△		自 然 科 学 特 論 B	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 C	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 D	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 E	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 F	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 G	2		2			可	
	◎		科 学 技 術 論	2				2		
科 外 語 目	△		総 合 コ ー ス A	4		4			可	2科目8単位以上選択
	△		総 合 コ ー ス B	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス C	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス D	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス E	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス F	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス G	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス H	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス I	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス J	4		4			可	
目	◎	教	英 語 I	1	1					各2科目計4単位必修
	◎		英 語 I	1	1					
	△		英 語 II	1		1			可	同一外国語を 4科目4単位以上選択
	△		ド イ ツ 語 I	1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 I	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 I	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 II	1	1					
	△		イ タ リ ア 語 II	1	1					
体 育 科 目	◎	教	運 動 ス ポ ー ツ 論	2	2					
	△	教	シ ー ズ ン ス ポ ー ツ	1		1				
	△	教	ス ポ ー ツ	1			1			

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度 履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専攻	◎	中高	専攻実技ⅠA	2	2					
	◎	中高	専攻実技ⅠB	2	2					
	◎	中高	専攻実技ⅡA	2		2				
	◎	中高	専攻実技ⅡB	2		2				
	◎		専攻実技ⅢA	2			2			
	◎		専攻実技ⅢB	2			2			
	◎		専攻実技ⅣA	2				2		
	◎		専攻実技ⅣB	4				4		
	△		専攻特別実技A	1		1				
	△		専攻特別実技B	1		1				
	△		専攻特別実技C	1			1			
	△		専攻特別実技D	1			1			
	△		専攻特別実技E	1				1		
	△		専攻特別実技F	1				1		
	◎		オペラ基礎演習ⅠA	1			1			
	◎		オペラ基礎演習ⅠB	1			1			
	◎		オペラ基礎演習ⅡA	1				1		
	◎		オペラ基礎演習ⅡB	1				1		
	△		重唱A	a 1			1			
	△		重唱A	b 1			1			
門科	△		重唱B	a 1				1		
	△		重唱B	b 1				1		
	◎	中高	合唱A	a 1	1					
	◎	中高	合唱A	b 1	1					
	◎	中高	合唱B	a 1		1			可	
	◎	中高	合唱B	b 1		1			可	
	△		レパートリー研究A	2			2		可	
	△		レパートリー研究B	2			2		可	
	△		演奏実践研修A	1	1				可	
	△		演奏実践研修B	1			1		可	
	◎	中高	音楽と情報処理	2	2					
	◎	中高	西洋音楽史概論Ⅰ	2	2					
	◎	中高	西洋音楽史概論Ⅱ	2	2					
	◎	中高	日本音楽史概論	2		2				
	△		音楽史特講A(鍵盤音楽史)	2			2			
	◎		音楽史特講B(声楽史)	2			2			
	△		生活音楽論講義	2		2				
	△	中高	音楽文化学講義Ⅰ	2		2				
	△	中高	音楽文化学講義Ⅱ	2		2				
	△		音楽工学講義Ⅰ	2		2				
育共	△		音楽工学講義Ⅱ	2		2				
	△		社会音楽学講義Ⅰ	2		2				
	△		社会音楽学講義Ⅱ	2		2				
	△		音楽学特講A	2			2			
	△		音楽学特講B	2			2			
	△		音楽学特講C	2			2			
	◎		音声学A	2		2				
	△		音声学B	2			2			
	△		音楽構成法ⅠA	2	2					ⅠAもしくはⅠB必修
	△		音楽構成法ⅠB	2	2					
	△	中高	音楽構成法ⅡA	2	2					ⅡAもしくはⅡB必修
	△	中高	音楽構成法ⅡB	2	2					
	◎	中高	和声法Ⅰ	2	2					
	◎	中高	和声法Ⅱ	2	2					
	◎	中高	和声法Ⅲ	2		2				
	◎	中高	和声法Ⅳ	2		2				
	△		対位法A	2			2			
	△		対位法B	2			2			
	△	中高	作曲法Ⅰ	2			2			
	△	中高	作曲法Ⅱ	2			2			
教目	△		芸術総合演習A	1		1			可	
	△		芸術総合演習B	1		1			可	

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度 履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 教 育 通 科 目	音楽科 教育	△	教 育 楽 器 演 習 A	2			2			
		△	教 育 楽 器 演 習 B	2			2			
	実 技	◎	ソ ル フ ェ ー ジ ュ I	1	1					
		◎	ソ ル フ ェ ー ジ ュ II	1	1					
		◎	ソ ル フ ェ ー ジ ュ III	1		1				
		◎	ソ ル フ ェ ー ジ ュ IV	1		1				
		◎	指 揮 法	2			2			
		△	キ ー ボ ー ド 演 習	2			2			
		◎	副 科 ピ ア ノ I A	1	1					
		◎	副 科 ピ ア ノ I B	1	1					
		◎	副 科 ピ ア ノ II A	1		1				
		◎	副 科 ピ ア ノ II B	1		1				
		△	副 科 ピ ア ノ III A	1			1		可	
		△	副 科 ピ ア ノ III B	1			1		可	
		△	ピ ア ノ 基 礎 テ ク ニ ッ ク A	1	1					
		△	ピ ア ノ 基 礎 テ ク ニ ッ ク B	1	1					
	共 通	△	副 科 管 楽 器 I	1	1					教職は副科管楽器、副科弦楽器 から同一科目Ⅰ・Ⅱを2単位選択
		△	副 科 管 楽 器 II	1		1				
		△	副 科 管 楽 器 III	1			1		可	
		△	副 科 弦 楽 器 I	1	1					
		△	副 科 弦 楽 器 II	1		1				
		△	副 科 弦 楽 器 III	1			1		可	
		△	副 科 オ ル ガ ン	1			1			
		△	副 科 ハ ー プ シ コ ー ド	1			1			
	科 目	△	コ レ ギ ウ ム A	1			1			教職は同一科目のA・Bを2科目2単 位以上選択
		△	コ レ ギ ウ ム B	1			1			
		△	管 楽 器 ア ン サ ン プ ル A	1		1			可	
		△	管 楽 器 ア ン サ ン プ ル B	1		1			可	
		△	弦 楽 器 ア ン サ ン プ ル A	1		1			可	
		△	弦 楽 器 ア ン サ ン プ ル B	1		1			可	
		△	伴 奏 法 A	1		1			可	
		△	伴 奏 法 B	1			1		可	
		△	指 導 法 研 究 A	1			1		可	
		△	指 導 法 研 究 B	1			1		可	
		△	総 合 ア ン サ ン プ ル A	1		1			可	
		△	総 合 ア ン サ ン プ ル B	1		1			可	
教 職 に 関 する 科 目		△	教 育 原 理	2	2					
		△	教 育 制 度 論	2	2					
		△	教 職 概 論	2	2					
		△	教 育 心 理 学	2		2				
		△	教 育 方 法 論	2		2				
		△	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	2		2				
		△	特 別 活 動 の 理 論 と 方 法	2		2				
		△	生 徒 指 導 A (進路指導を含む)	2		2				
		△	教 育 相 談	2			2			
		△	音 楽 科 教 育 法 I	2		2				
		△	音 楽 科 教 育 法 II	2		2				
		△	音 楽 科 教 育 法 III	2			2			
		△	音 楽 科 教 育 法 IV	2			2			
		△	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2				2		
		△	教育実習 A (事前事後指導を含む)	5				5		
		△	教育実習 B (事前事後指導を含む)	3				3		

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度 履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
司書教諭に 関する科目	△	教	学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2			2			
	△	教	学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2			2			
	△	教	学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2			2			
	△	教	読 書 と 豊 か な 人 間 性	2			2			
	△	教	情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2			2			
計			一 般 教 育 科 目	124						
			専 門 教 育 科 目	144						
			教 職 に 関 す る 科 目	36						
			司 書 教 諭 に 関 す る 科 目	10						
			合 計	314						

音楽科教育課程表（音楽文化、応用制作部門）

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
一般科目	◎		キ リ ス ト 教 学 I	2	2					
	◎		キ リ ス ト 教 学 II	2				2		
	◎		基 礎 演 習	2	2					
	◎		日 本 語 演 習	2	2					
	△		教 養 講 義 A	2	2				可	2科目4単位以上選択
	△		教 養 講 義 B	2	2				可	
	△		教 養 講 義 C	2	2				可	
	△		教 養 講 義 D	2	2				可	
	△		教 養 講 義 E	2	2				可	
	△		教 養 講 義 F	2	2				可	
	△		教 養 講 義 G	2	2				可	
	△		教 養 講 義 H	2	2				可	
	△		教 養 講 義 I	2	2				可	
	△		教 養 講 義 J	2	2				可	
	△		教 養 講 義 L	2	2				可	
	△		教 養 講 義 M	2	2				可	
	△		教 養 講 義 N	2	2				可	
	△		教 養 講 義 O	2	2				可	
	◎		人 文 社 会 科 学 入 門	2	2					
	◎		特 殊 研 究 A	2			2		可	
	◎		特 殊 研 究 B	2			2		可	
	△	教	日 本 国 憲 法	2			2			
教 育 科 目	◎		自 然 科 学 入 門	2	2					
	△		自 然 科 学 特 論 A	2		2			可	1科目2単位以上選択
	△		自 然 科 学 特 論 B	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 C	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 D	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 E	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 F	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 G	2		2			可	
科 外 国 語 目 科 目	◎		科 学 技 術 論	2			2			
	△		総 合 コ ー ス A	4		4			可	2科目8単位以上選択
	△		総 合 コ ー ス B	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス C	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス D	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス E	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス F	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス G	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス H	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス I	4		4			可	
目 科 目	◎	教	英 語 I	A 1	1					各2科目計4単位必修
	◎		英 語 I	B 1	1					
	△		英 語 II	1		1			可	
	△		ド イ ツ 語 I	A 1	1					同一外国語を 4科目4単位以上選択
	△		ド イ ツ 語 I	B 1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	A 1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	B 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	A 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	B 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	A 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	B 1	1					
	△		イ タ リ ア 語 I	A 1	1					
	△		イ タ リ ア 語 I	B 1	1					
	△		イ タ リ ア 語 II	A 1	1					
	△		イ タ リ ア 語 II	B 1	1					
	△		ド イ ツ 語 III	1		1			可	
	△		フ ラ ン ス 語 III	1		1			可	
体 育 科 目	◎	教	運 動 ス ポ ー ツ 論	2	2					
	△	教	シ ー ズ ン ス ポ ー ツ	1		1			可	
	△	教	ス ポ ー ツ	1		1			可	

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 科 教 育 目 的	◎		音 楽 文 化 基 礎 講 義	2	2					
	◎		生 活 音 楽 論 講 義	2	2					
	◎	中高	音 楽 実 践 基 礎 セ ミ ナ ー I	2	2					
	◎	中高	音 楽 実 践 基 礎 セ ミ ナ ー II	2	2					
	◎	中高	音 楽 実 践 基 礎 セ ミ ナ ー III	2		2				
	◎	中高	音 楽 実 践 基 礎 セ ミ ナ ー IV	2		2				
	◎		音 楽 文 化 セ ミ ナ ー I	2		2				
	◎		音 楽 文 化 セ ミ ナ ー II	2		2				
	◎		音 楽 制 作 セ ミ ナ ー I	2		2				
	◎		音 楽 制 作 セ ミ ナ ー II	2		2				
	△		音 楽 文 化 専 攻 セ ミ ナ ー I	2			2			音楽文化専攻必修
	△		音 楽 文 化 専 攻 セ ミ ナ ー II	2			2			
	△		応 用 制 作 専 攻 セ ミ ナ ー I	2			2			応用制作専攻必修
	△		応 用 制 作 専 攻 セ ミ ナ ー II	2			2			
	△		専 攻 特 別 セ ミ ナ ー	2			2			
	△	中高	音 楽 文 化 学 講 義 I	2		2				同一科目の I, II 4単位以上選択
	△	中高	音 楽 文 化 学 講 義 II	2		2				
	△		音 楽 工 学 講 義 I	2		2				
	△		音 楽 工 学 講 義 II	2		2				
	◎		社 会 音 楽 学 講 義 I	2		2				
	◎		社 会 音 楽 学 講 義 II	2		2				
	△		音 楽 学 特 講 A	2			2			
	△		音 楽 学 特 講 B	2			2			
	△		音 楽 学 特 講 C	2			2			
	◎		卒 業 研 究 セ ミ ナ ー I	2				2		
	◎		卒 業 研 究 セ ミ ナ ー II	2				2		
	◎		卒 業 研 究	4				4		
	△		演 奏 実 践 研 究	1			1			可
共 通 科 目	◎	中高	音 楽 と 情 報 処 理	2	2					
	◎	中高	西 洋 音 楽 史 概 論 I	2	2					
	◎	中高	西 洋 音 楽 史 概 論 II	2	2					
	△	中高	日 本 音 楽 史 概 論	2		2				
	△		音 楽 史 特 講 A (鍵 盤 音 楽 史)	2		2				
	△		音 楽 史 特 講 B (声 楽 史)	2		2				
	△		音 楽 構 成 法 I A	2	2					I A もしくは I B 必修
	△		音 楽 構 成 法 I B	2	2					
	△	中高	音 楽 構 成 法 II A	2	2					II A もしくは II B 必修
	△	中高	音 楽 構 成 法 II B	2	2					
	△		対 位 法 A	2			2			
	△		対 位 法 B	2			2			
	△	中高	作 曲 法 I	2			2			
	△	中高	作 曲 法 II	2			2			
	△		キ ー ボ ー ド 演 習	2			2			
	△		芸 術 総 合 演 習 A	1		1				可
	△		芸 術 総 合 演 習 B	1		1				可
	△		教 育 楽 器 演 習 A	2			2			
	△	中高	教 育 楽 器 演 習 B	2			2			
実 技 科 目	◎	中高	指 揮 法	2			2			
	◎	中高	合 唱 A	a 1	1					
	◎	中高	合 唱 A	b 1	1					
	◎	中高	合 唱 B	a 1		1				可
	◎	中高	合 唱 B	b 1		1				可
	◎	中高	合 唱							

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度 履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 技 育 科 目	◎	中高	副 科 ピ ア ノ I A	1	1					
	◎	中高	副 科 ピ ア ノ I B	1	1					
	◎	中高	副 科 ピ ア ノ II A	1		1				
	◎	中高	副 科 ピ ア ノ II B	1		1				
	◎	中高	副 科 声 楽 I	1	1					
	◎	中高	副 科 声 楽 II	1		1				
	△	全高	副 科 管 楽 器 I	1	1					教職は副科管楽器、副科弦楽器 から同一科目Ⅰ・Ⅱを2単位選択
	△	全高	副 科 管 楽 器 II	1		1				
	△	全高	副 科 弦 楽 器 I	1	1					
	△	全高	副 科 弦 楽 器 II	1		1				
	△	中高	管 楽 器 アンサンブル A	1		1			可	教職は同一科目のA・Bを2科目2単 位以上選択
	△	中高	管 楽 器 アンサンブル B	1		1			可	
	△	中高	弦 楽 器 アンサンブル A	1		1			可	
	△	中高	弦 楽 器 アンサンブル B	1		1			可	
	△		総 合 アンサンブル A	1		1			可	
	△		総 合 アンサンブル B	1		1			可	
	△		指 導 法 研 究 A	1			1		可	
	△		指 導 法 研 究 B	1			1		可	
	△		伴 奏 法 A	1		1			可	
	△		伴 奏 法 B	1			1		可	
教 職 に 関 す る 科 目	△	中高	教 育 原 理	2	2					
	△	中高	教 育 制 度 論	2	2					
	△	中高	教 職 概 論	2	2					
	△	中高	教 育 心 理 学	2		2				
	△	中高	教 育 方 法 論	2		2				
	△	中高	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	2		2				
	△	中高	特 別 活 動 の 理 論 と 方 法	2		2				
	△	中高	生 徒 指 導 A (進路指導を含む)	2		2				
	△	中高	教 育 相 談	2			2			
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 I	2		2				
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 II	2		2				
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 III	2			2			
	△	中高	音 楽 科 教 育 法 IV	2			2			
	△	中高	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2				2		
司 関 書 教 論 に 関 す る 科 目	△	教	学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2			2			
	△	教	学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2			2			
	△	教	学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2			2			
	△	教	読 書 と 豊 かな 人 間 性	2			2			
	△	教	情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2			2			
学 芸 員 に 関 す る 科 目	△	学	生 涯 学 習 概 論	2			2			
	△	学	博 物 館 概 論	2	2					
	△	学	博 物 館 資 料 論	2		2				
	△	学	博 物 館 経 営 論	2		2				
	△	学	博 物 館 情 報 ・ メ デ ィ ア 論	2	2					
	△	学	博 物 館 実 習 I	1			1			
	△	学	博 物 館 実 習 II	2			2			
	△	学	博 物 館 教 育 論	2	2					
	△	学	博 物 館 資 料 保 存 論	2			2			
	△	学	博 物 館 展 示 論	2		2				
	△	学	文 化 史	4		4				2科目8単位以上選択
	△	学	民 俗 学	4		4				
	△	学	美 術 史	4		4				
	△	学	考 古 学	4		4				
計			一 般 教 育 科 目	124						
			専 門 教 育 科 目	119						
			教 職 に 関 す る 科 目	36						
			司 書 教 論 に 関 す る 科 目	10						
			学 芸 員 に 関 す る 科 目	35						
			合 計	324						